



NEC玉川事業所の公開空地

NEC公開空地を活用した「まちのひろば」づくり

「まちのひろば」創出職員プロジェクトチーム 4班

経済労働局イノベーション推進室
まちづくり局都市計画課
中原区役所地域ケア推進課
宮前区役所企画課
市民文化局協働・連携推進課

藤本 絢
伊東左江子
工藤 青人
山田 将史
宮下 拓

4 班は何故この場所でやることになったか？



業務（中原区役所勤務）の関係でNECの方をよく知ってる！
何かできるかも！



業務で昔関わっていたので、（向河原も含む）小杉駅周辺地区が
もっと盛り上がってほしい！



公開空地がもっと利活用されるようになってほしい！
NECの公開空地はすごく魅力的！



私、この近く（武蔵小杉エリア）でよくゴミ拾いしてます！



地域×企業×行政が一緒に取り組むことができるかもしれない
ステキな場所！

NECの公開空地で何かやりたい！という思いが一致した

NECの皆さんも、ぜひやろう！と言ってくれた

まずは地域の方々と話し合いをしてみました

- ・武蔵小杉と向河原との間に壁を感じる
- ・「地元」と「マンション住人」の交流が足りない
- ・**子どもを中心に交流する場や遊び場が足りない／少ない**
- ・**新たな住民層が地域を知るきっかけが少ない**
- ・地域住民はお祭りに飢えている/企画不足と感じている
- ・NECレッドロケッツ(バレーボールチーム)が来ると、盛り上がる、宣伝になる

話し合いを基にコンセプトを決定

コンセプト

NEC公開空地を活用した
「武蔵小杉」と「向河原」のエリア間における**交流の活性化**

ターゲット

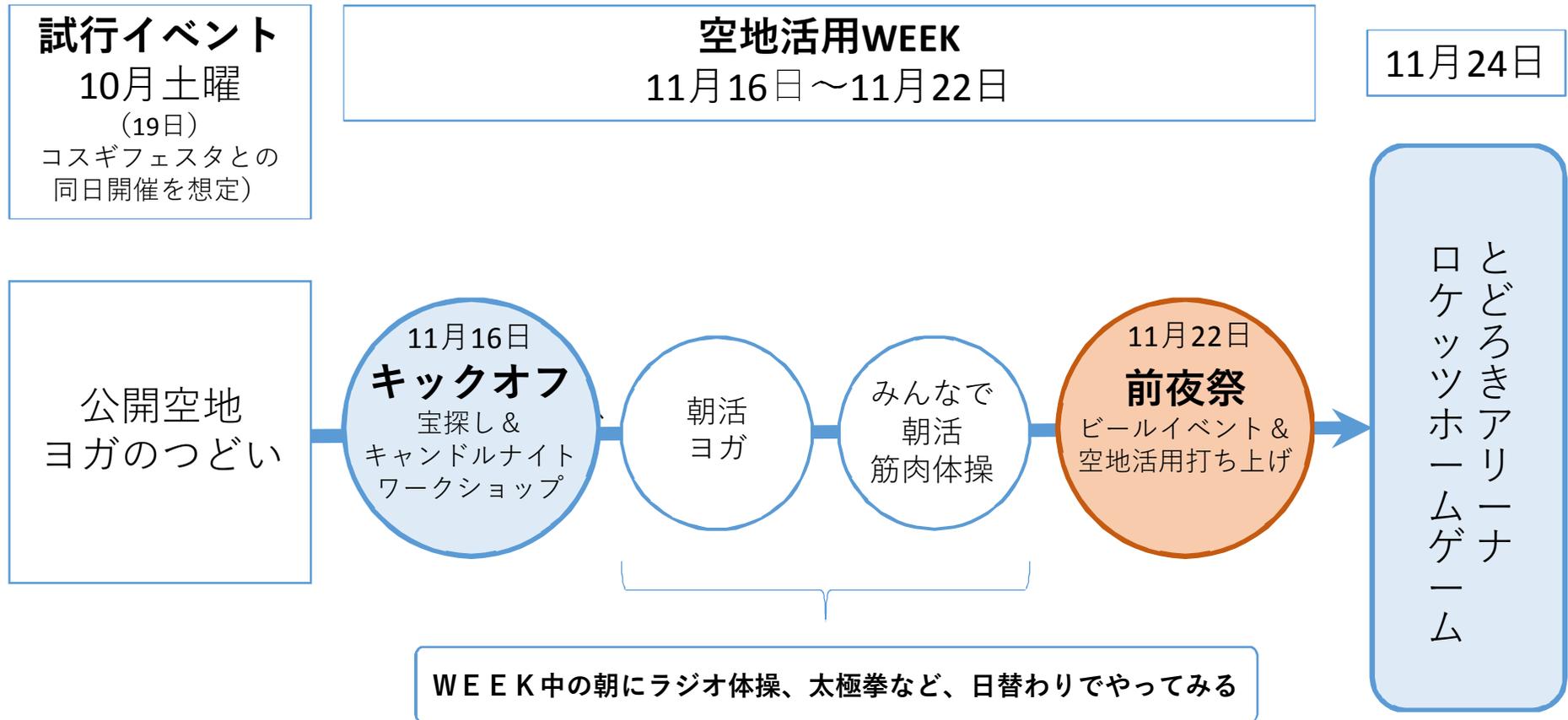
- ・武蔵小杉エリア(特に下沼部小学区?)の小学生親子を対象
- ・公開空地周辺に住む人／利用する人／興味のある人

得られる効果

- ・新たな交流が生まれる／地域を知ってもらう／地元意識の醸成
- ・武蔵小杉・向河原の中心にある当該公開空地が交流を生み出す場としてのポテンシャルを探る

当初のイベントスケジュール

11月16日～22日の1週間を空地活用WEEKにして、公開空地活用の可能性を探ろう！！！！



地域の方々との再度の話し合い(10月12日以降)

- ・子どもたちが笑顔になれるイベントがいいのでは。
- ・小規模で台風の被害から前向きになれるような内容がいい。
- ・NECレッドロケッツ(バレーボールチーム)がもっと地域に出てきたり、一緒に盛り上げられることができたらいいな。

コンセプト

地域の方々の想いをもとに、

**台風被害でつらい想いをした子どもたちが
笑顔で楽しめる**

多くの方の協力で素晴らしい内容に！

テーマ決定「子供たちが笑顔になれるイベントに！」

あたたかい
笑顔で
来てね！

しもめまべ こどもナイト

～つくって・おどって・たのしもう～

2019年11月22日(金)15時から19時まで

会場 NECのひろば (JR南武線向河原駅周辺)

※入場無料・事前申込不要
※雨天時、NEC社内で一部内容を変更して実施

- LEDキャンドルづくり
- 和紙灯り
ワークショップ
- ハンモックヨガ
・ポッチャ体験
- ダンス
ワークショップ
- キャンドル
鑑賞会

遊びに来てくれた人の中から抽選で
11月24日(日)のNECレッドロケッツ
ホームゲーム(＠とどろきアリーナ)
観戦チケットやNECレッドロケッツ
などのグッズをプレゼントします！

主催 NEC 川崎市(「まちのひろば」創出職員プロジェクトチーム)
協力 下沼部町内会 向河原子ども会 中丸子みゆきこども会

問合せ先 (イベントについて) 川崎市市民文化局協働・連携推進課 044-200-3708
(「ハンモックヨガ」・NECレッドロケッツについて) NEC玉川事業場 044-435-1013

地域や企業などの協力

和紙灯りづくりの体験ワークショップできるよ
(伊藤苗子さん)

ハンモックヨガの体験できるよ (吉川由維さん)

子供向けのダンスワークショップできるよ
(NPO法人ダンスラボラトリー・NECダンサーズ)

ポッチャの道具貸せるよ (川崎市市民文化局)

キャンドル持って行って飾れるよ
(鈴木さん、平方さん)

2日後にNECレッドロケッツのホームゲームが
あるので、そこで踊ったら？！
子どもたちが作った和紙灯りも飾る？！(NEC)

しもぬまべこどもナイトの様子（11月22日）



和紙灯りワークショップ



キャンドル鑑賞

しもぬまべこどもナイトの様子（11月22日）



ハンモックヨガ体験



ダンスワークショップ



ボッチャ体験

NECレッドロケッツホームゲームとのコラボレーション（イベント2日後）



展示された和紙灯り



選手と和紙灯りを持ったエスコートキッズが入場



試合会場でダンス

実施結果

日時：令和元年11月22日（金）15:00～19:00

場所：NEC玉川事業場 サウスタワー社屋内
（一部キャンドル鑑賞会は公開空地）

参加人数：約52名（子ども約35名、大人約17名）

関係主体等：

コーナー名	関係主体	参加者数
和紙灯りづくり ワークショップ	伊藤 苗子さん ※武蔵小杉在住 （手作りあかり教室Lumiavenir主催 ・灯りデザイナー）	約40名
ダンスワークショップ	NPO法人ダンスラボラトリー（10名） NECダンサーズ（8名）	約20名
キャンドル鑑賞会	鈴木さん、平方さん	
ハンモックヨガ体験	吉川 由維さん （美容エクササイズStudio TRENDY オーナー）	
ボッチャ体験	川崎市市民文化局市民スポーツ室※道具貸与 NECボッチャ部	

運営スタッフ数：NEC 25名（うちボランティアスタッフ16名）
川崎市 14名（うちメンバー外の協力スタッフ9名）

実施結果

■課題：

- 地域との調整過程
- 取組の継続性
 - ・今回は、**NEC**と市が主催でイベントを実施したが、継続的にNECと市が人員や費用等の大きな負担をする形での取組実施は難しい
 - ・地域としても既存の様々な取組がある中で新たな負担は簡単には増やせない

■良かった点：

- ・多くの方の協力で素晴らしい内容に！
- ・公開空地等の地域のための活用の第1歩を踏み出せた！
- ・調整の過程で関係者の距離が少し縮まった（のでは）！
- ・みんな楽しかった！！

今後に向けて①「実施結果や課題を踏まえ…」

■視点

- ・ それぞれが これまでの立場や考え方等を超えて、少しずつ踏み出せた からこそ取組が実現した
(公開空地等の地域への開放もそのうちの一つ)
- ・ 地域・企業・行政の3者の相互理解 が深まれば、それぞれが今まで以上に前に踏み出し、WIN-WIN-WINで取組を進めることができるのではないか？
- ・ NECという大きな「企業」が立地し、「地域」に向き合っている というのは、地域にとって大きな強み

今後に向けて②「アイデアを生み出そう」

NEC玉川事業場の公開空地について、
交流の場として、地域でも活用していくために、
地域×企業×行政の3者がやってみたいことや
そのためにできることを出し合い、
今後の実際の活用（**アクション**）につながる
アイデアを生み出す。

小さなことからでもアクションを積み上げていく



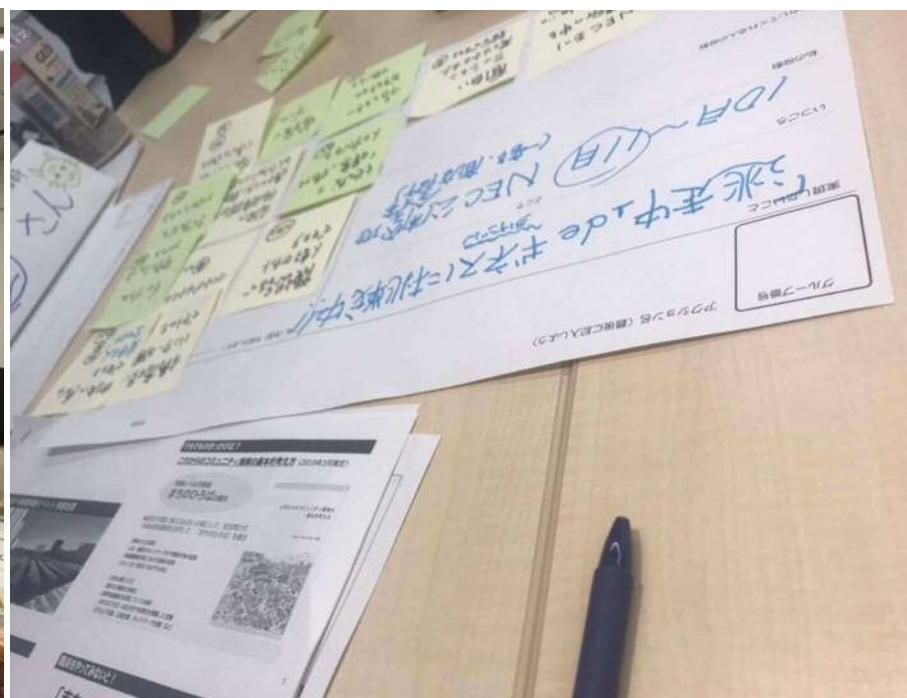
3者が共にアクションを積み重ねていくことで、
相互理解が深まり、さらなる展開へ！

しもめまべ地域共創イベント会議を実施（1月23日）

- 日時：令和2年1月23日（木）17:00～20:00
場所：NEC玉川事業場 共創スペース
当日の流れ：17:00～18:00 NEC玉川事業場内の見学会（公開空地含め）
18:00～20:00 アイデア出し会議（ワークショップ）
- 参加人数：36名（近隣関係者 20名、NEC 10名、川崎市 6名）
関係主体等：近隣町内会・自治会、子ども会、商店街など



アイデア会議全体の様子



班ごとのアイデア

アイデア出しのワークショップ° (記載例)

個人ワーク

グループワーク

グループ番号	アクション名(最後に記入しよう)	お名前
2	子供たちを元気に！しもぬまべこどもナイト	山田 将史
実現したいこと	私(私達)も協力します!	
キャンドルナイト、ボッチャ体験	和紙灯り ワークショップ できます 作品で飾り付け できます 伊藤	ハンモック ヨガ体験 できます 吉川
いつごろ	どこで	
11月中旬頃	向河原駅側公開空地 2階公開空地	
私の役割	ワークショップ 関係の机・椅子 貸せます トイレも使って ください。 NEC	ダンスワーク ショップ できます。 NECダンサーズ も呼べます。 ダンラボ
協力してくれる人の役割	ホームゲームの 日に おどりませんか NEC レッドロケッツ	
何のために?	WIN-WIN-WINになれるよう「何のために？」を意識 →地域課題・社会課題の解決? NECのメリット?	

しもぬまべ地域共創イベント会議で出てきたアイデア

- ・ 真夏の癒しスポット(納涼祭の復活)
- ・ 向河原フェス(お祭りがしたい)
- ・ 誰もが輝けるオープンステージ(灯りと音楽とダンスフェス)
- ・ 光と音のまちかどドラマ (子どもの遊び場づくり)
- ・ リベンジしもぬまべこどもナイト
- ・ 地域のみんなで「逃走中！」 (ギネスに挑戦！)

などなど

取組を通じて…

- ・地域にとって今まで活用されない「**もったいない空間**」であった公開空地を活用することで「**こんなこともできるんだ**」という可能性を地域・企業・行政の3者が認識する**きっかけ**を作ることができた。
- ・ワークショップ等を通して3者が**WIN-WIN-WIN**になれるかもしれないという現状も少しずつ見えてきた。
- ・一方で活用していく上での**様々な課題**（資金、設備、継続性など）も見えた。
- ・**公開空地の活用を継続していく**ために、3者の相互理解をさらに深め、小さなことからアクションを起こして、運営体制の構築を目指していく。



この場所を…



将来こんな風に！？

そして、来年度へ…

台風の影響により地域の力を引き出せず、悪天候により「公開空地」が活用できなかった昨年度から、**来年度は地域とNECと共に小さな取組を積み重ねて持続的に活用していく体制構築に向けたステージへ…**

ステップ1 公開空地バリア取り払い期間（～9月）

小さなことを実験的に複数回実施（自ら活動する意欲の高い方とのコラボレーションによる活動、NECイベントとの連携、PJTメンバー個人でもチャレンジ！等）
⇒ 様々な活用を地域の方に見ていただいたり、参加していただくことで活用にイメージをつかんでもらう

ステップ2 持続的発展に向けた運営体制の検討期間（10月～）

・ステップ1の評価や課題整理を行い、地域主体による次年度以降の運営体制構築へ